



たもんのこ



令和6年9月2日
認定こども園
世田谷区立多聞幼稚園
園長 山路 智之

自分の好きなことに一生懸命に取り組む子どもたちを目指して

園長 山路 智之

毎日のように猛暑が続き、夏休みをどのように過ごしているのかな?と職員で話題にしてみました。そのような中、パンダクラブを利用の子どもたちはパリオリンピックの放送をテレビで鑑賞したり、多聞小学校の体育館や図書室を利用させていただいたりしながら、普段経験できない夏を満喫して過ごしました。ご家庭で過ごされていた子どもたちは、どのように過ごされていましたか。先生や友達との久々の再開に喜び、思い出話に盛り上がる2学期が始まりました。

しかしながら、局地的な豪雨や台風、また地震による災害により、全国各地において甚大な被害がありました。未だ予断を許さない状態が続いているところです。犠牲になられた方々、ご遺族の皆様にご哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた方々が、一日も早く穏やかな生活に戻れます事をお祈り申し上げます。

この夏の印象的な出来事として、熱戦が展開された“パリオリンピック”。今はパリパラリンピックが開催されているところです。思い返せば、3年前、東京で開催された“東京2020大会”では、オリンピックの日本代表選手団は、金メダル27個を含む過去最多の58個のメダルを、パラリンピックの日本選手団は、51個のメダルを獲得しました。今回のパリオリンピックでは、金メダル20個を含む45個のメダルを獲得し、海外開催のオリンピックでは、過去最多のメダル数となりました。

あるメディアでは、ここ近年、日本の球技スポーツ全般のレベルアップは、元来にあった「学校体育と生活体育(エンジョイスports)」の2つのルーツの考え方が強みではないかという見方をしています。

スポーツ競技では勝敗があつて当たり前であり、メダル獲得に向け、人一倍の練習や努力を積み重ね、競技に挑んでいます。その中でも、競技を楽しめたというアスリートの言葉を耳にすることが多く、自分の好きなことに一生懸命に取り組む思いが伝わってきます。また、その気持ちの根底には、粘り強く取り組む、諦めないで最後までやり遂げるなどといった「非認知能力」が関わっているのではないかと思います。

幼児教育では様々な運動遊びに親しみ、楽しんで取り組むことを大切にしています。そのためには、幼児が興味、関心をもてる環境が必要です。本園では、様々な運動遊びに親しめるように進めています。友達のやっている姿を見て、自分もやってみようとする気持ちや繰り返し取り組む中で“できた”という実感をもち、自信につながるようにしています。また、取組を通し、目的をもったり、上手になるように工夫したり、根気強く頑張ったりしている姿勢を引き出し、非認知能力を伸ばしています。

今学期も、本園の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

